

## 令和3年第2学期 終業式式辞

今は日暮れの時刻が1年で最も早い時期であり、まだまだこれから、日増しに寒さが厳しくなっていきます。そんな中、令和3年度第2学期が終わろうとしています。中部中学校生徒の皆さんは、どんな気持ちで今日を迎えているのでしょうか。

思い返せば、この2学期は、新型コロナウイルスの第5波が猛威を振るうなかでのスタートでした。部活動中止が約2週間続き、行事の見直しが迫られ、3年生の修学旅行を日帰りの2日間に変更しました。

しかし、それでも3年生の皆さんは、1日目の高知県、2日目の香川県内の旅行を仲間とともに楽しみました。滝宮天満宮で一生懸命お参りをする姿に、これから始まる高校入試に向けて、全員の希望が叶うよう、私も祈りました。

そして、予定より約1か月遅れましたが、合唱コンクールを開催しました。十分な練習時間の確保ができない中、どのクラスも当日は素晴らしい合唱を披露してくれました。

本番を迎えるまで、各クラス、困難なこともあったらと思います。それを乗り越えて、クラス全員が一つにまとまったことや、本番直前の緊張感、終わった後の達成感など、感じたことは人それぞれ違うと思いますが、そこで得た経験はこれからの人生においてプラスになるとと思います。そのほかにも、和楽器集団「独楽」の演奏、人権集会なども実施されました。

そして、部活動において、先輩の思いを受けついで1、2年生が本当によくがんばりました。地区新人戦、県新人戦での活躍は学校全体が活気づきます。毎日の練習に耐え、自分を追い込んで、実力を高めたことが、成果として表れたのだと思います。日頃、皆さんを指導したり支えてくれたりしている顧問の先生やコーチに感謝することを忘れず、来年度に向け

て、慢心することなく、冬の間、さらに力を溜めてください。

さて、簡単に2学期を振り返りましたが、今、話したのは学校全体の振り返りであり、私の振り返りです。

皆さんには、皆さん一人一人の2学期があるため、ここまでの私の話を聞いても、受け止め方が違うのではないのでしょうか。昨日の懇談会で担任の先生や保護者の方といっしょに振り返りをしたと思いますが、今一度、自分自身でどんな2学期だったかを思い出してください。

なぜ、こんなことを私がいうのかというと、「振り返り」は、自分自身を客観的に見る力や自分をコントロールする力を高めるために、とても大切なことだからです。

では具体的にどうすればよいかというと、心の中に、もう一人の自分をつくり、その、もう一人の自分が少し高いところから自分を見ている様子をイメージしてください。振り返りは、そのもう一人の自分にさせるのです。あのときの行動はあれでよかったのか、それとも反省すべきなのか、自分は今のままでいいのか、それとも変えていくべきなのか。そういうことを、もう一人の自分に問いかけ、結論を出します。それは○とか×の判断だけでなく、もし×ならば、どうすべきかまで考えることが大切です。日々の行動の中で、こういうことを繰り返すことで、自分自身を客観的に見る力がついてくるのです。

もう一人の自分を心の中につくることができる生物は人間だけです。そして、それができて、自分をコントロールできるようになったとき、人は精神的に大人になるのだと私は思います。

時として思うようにいかなかったり、だれかに叱られたりしたとき、どうせ自分は・・・と、自暴自棄になりがちですが、そういうときにこそ、もう一人の自分をつくり、自分にアドバイスできる力があれば、失敗しても、そこから学び、何度でもやり直すことができるようになるのです。

2学期が終わります。そして、間もなく2021年、令和3年が幕を閉

じます。生徒の皆さんには、自分の将来の夢を実現するために、ぜひ、もう一人の自分と相談して2学期を振り返り、来る2022年に向けて、自分が、何もしなければ達成できないけれど、少し努力すれば達成できる、実現できる目標を設定してほしいと考えています。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断を許しません。大阪や京都でオミクロン株の市中感染が報告されています。夏休み前は落ち着いていた全国の感染者数が、夏休みに入ったとたんに、急激に増加しました。そのことを踏まえ、クリスマスや年末年始も感染対策を各自でしっかりしてください。また、そのほかの病気や交通事故等にも十分注意してほしいと思います。3学期の始業式に全員が、元気に揃うことを祈念して、2学期終業式の式辞といたします。

令和3年12月24日

観音寺市立中部中学校長 三好健浩